



清流だより 第8号

平成29年7月24日発行

発行責任者: 向井ひろあき 後援会
木村左右和
連絡先: 南木曽町読書2740の2
電話 0264(24)2475

日々の活動の様子は「後援会 HP」「向井ひろあきブログ」「町 HP 町長の部屋」で発信中 →



阿部守一長野県知事と



《地域医療の要望活動》
後藤地元代議士を通じての本木曽町町長による要望活動



河村たかし
名古屋市長と



厚労省幹部への要望



町議会と一緒に県への要望活動



《森林の里親制度》 町有林整備を大同特殊鋼と提携



最も美しい村 世界連合会長夫妻と



《日本遺産》
文科大臣から認定証の授与

《地区行事への参加から》



工芸街道祭り



名城大学学長訪問



地区運動会



地区祭礼



新春のろし上げ



桃介夏祭り



さいとろさし (左が本人)



《ミニ集会》 各地区での様子

ここに乘せ切れない程お世話になっています。
これからもよろしくお願い致します。

裏面へ続きます。是非お読み下さい。➡

もっと 南木曾を元気に!



皆様の暖かなご支援により、就任から1年が経ちました。「もっと南木曾を元気に」するために、出来ることから精一杯取り組ませていただいています。

公約の取り組み状況をお知らせすると共に、人口減少への歯止めを第一に今後とも頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

なお、後援会会員は随時受け付けていますので、お気軽にお申し込み下さい。会費等は不要です。(後援会事務局)



【公約(マニフェスト)の取り組み状況】

易い町づくり	もっとわかり	・気軽な対話などの開催、行政と住民との情報交換	→町政報告会を開催、ミニ集会を各地区で実施中です。
		・町政のイメージを判り易く、町政を身近にする取り組み	→読みやすい町広報紙に改善、聞きやすい広報無線工夫、HPスマホ対応版を整備しました。
		・役場をより親しみある組織にする	→接遇改善、判り易い対応の心がけなどを庁内研修などにより努力中です。
もっと思い切り	定住化	・団体、組織の見直し。女子力女性感覚の活用	→今後とも意見を聞きながら検討をしていきます。役場管理職に女性を積極的に登用します。
		・魅力ある住宅、空き家対策で住環境を整備	→蘭・田立で若者向け町営住宅建設に向けて準備中。町内各地でミニ宅造の適地を調査。町営住宅の風呂場、屋根、駐車場を順次整備中です。
		・商店街、水洗化、通院買物交通など暮らしやすい環境整備	→集合商業施設研究会の支援。通院バス停留所の追加、待合所改修などを実施。
もっと育て「なぎぞっこ」	定住化	・公共施設の適正管理と活用	→公共施設管理計画を策定。妻籠分館建て直しの話し合いを推進しています。
		・定住者、子育て世代支援、U I ターン受け入れ、起業支援	→リフォーム補助制度を継続し定住者向けに拡充しました。中京方面から大学生のインターンシップを受け入れます。
		・ワークライフバランスの推奨、地域人材の確保	→役場内での残業減に向けた取り組みと地域への貢献に努力していきます。
もっと健康に	定住化	・雇用、後継者確保等による地域産業の維持	→企業誘致に向けた研究。蘭小学校跡地に学校法人誘致に向けた協議を開始しました。
		・伝統産業、農林産物の利活用	→ふるさと納税制度に地元産品を追加見直し中。伝統産業の活用を前提にした地域おこし協力隊員の採用。畜産素牛導入支援。地元産米ブランド力強化(選別機導入補助)を行っていきます。
		・個性ある観光地、情報発信、外国人観光客対応	→町の外国語版HP、スマホサイトを整備済。観光協会のあり方について協議中。信州ディスティネーションキャンペーンの受入。日本遺産認定に伴う推進策を実施します。
もっと育て「なぎぞっこ」	定住化	・妻籠宿保存精神の継承と地域活性化につながる取り組み	→50周年事業への支援。見直し調査について調整中。空き家活用を研究していきます。
		・リニア工事対策と活用	→土捨場候補地を公募。対策協議会と共に対応していきます。
		・道路整備と交通安全の推進	→右岸道路、県道田立線、R256ほか幹線道路の改良促進の要望を継続しています。
もっと健康に	定住化	・防災力強化と山林の手入れ	→梨子沢災害復旧工事竣工。ヘリポート調査。町有林での搬出間伐実施中。森林組合機械導入へ補助。天白町有林を大同特殊鋼と整備協定締結しました。
		・災害の伝承、人による地域防災力強化	→豪雨災害の記録冊子を取りまとめ中(全戸配布予定)。防災無線機を全戸更新します。
		・自然景観保全や美化活動推進、自然エネルギーの活用	→調査費を計上。小水力発電を研究中。環境保全条例を制定予定です。
もっと健康に	定住化	・ごみの減量、資源の再利用	→広域ごみ焼却炉の更新。古着回収を継続します。
		・鳥獣害対策取組への支援。捨犬、捨猫の防止	→鳥獣害対策の支援強化を継続。緩衝帯としての森林整備を実施。
もっと健康に	定住化	・若者が活躍できる場づくり、出会いの場の確保	→引き続き婚活グループへの支援を継続していきます。
		・妊婦、出産後の母子支援、不妊治療、高齢出産への支援	→不妊不育治療へ独自に町費上乘せ補助を実施しました。
		・要望をふまえた各種保育サービスの充実、子どもの予防接種補助	→保育への要望を取りまとめ。放課後子ども教室「なぎぞっこ」を開設。中3インフル予防接種無料化。子ども医療費窓口無料化要望中。小中学生に防犯ブザーを配布しました。
もっと健康に	定住化	・遊び場確保、学童保育の充実など子どもの居場所確保	→南木曾会館内のキッズスペース、子どものための芝生広場を整備中です。
		・魅力ある保育園、学校づくり。保小中高による地域連携教育の確立	→役場保育部門を教育委員会へ移設し、連携体制を強化。保育園での子どもの運動能力向上を支援(専門家指導、遊具)します。
		・地域と連携した学校、開かれた学校運営を支援	→コミュニティスクールを主体に検討中です。
もっと健康に	定住化	・原体験の尊重、基礎学力の充実、読書活動の推進	→中学生の各種検定支援制度の創設。保育園での歩き方、遊びなどを支援しています。
		・障がい、ハンディある子どもの自立支援	→小学校、保育園で職員の加配措置を行っています。
		・安心安全なおいしい給食と地元農産物の利用	→検討中。地元農産物は継続利用を推進していきます。
もっと健康に	定住化	・安心安全なおいしい給食と地元農産物の利用	→下宿生徒への支援拡大。「蘇南高校を育む会」を開催し、支援事業を継続していきます。
		・特色ある蘇南高校実現	
もっと健康に	定住化	・誰にでも、優しく、身近で、頼りがいのある福祉施策	→社協へ相談制度を委託開始しました。
		・認知症・介護予防による健康長寿と介護支援	→各種団体と協力しながら各種施策を実施中です。
		・孤独死の防止、年配者・障がい者への見守りと支援	→自主的自動車運転免許返納者への支援制度を創設しました。
もっと健康に	定住化	・地元医療確保と医療機関との連携、広域的な緊急医療体制の整備	→国県へ改善策を要請中。アンケート実施、関係機関と協議を継続しながら、現実的な対応策を検討中です。
		・検診受診率の向上と病気予防、健康づくりの推進	→受診率向上キャンペーン、検診応援策を実施中です。
		・地域コミュニティ維持と生涯学習推進、スポーツ、文化サークルの推進	→公民館、各種団体等と今後検討し、活動を推進。花馬まつり300年事業へ協力します。
もっと健康に	定住化	・慣習・動植物などの記録(アーカイブ)保存推進	→吾妻地区文化記録DVD発行。南木曾の植物第2集を発行予定です。
		・チャレンジクラブの自立応援、妻籠健康マラソンの継続	→両団体への支援の継続を実施。社会体育館へ新たにトレーニングマシンを設置しました。

*引き続き、出来ることから取り組んでいきますので、ご支援ご協力をお願い致します。